KSKQ イマージュ

劇団態変

謹賀新年

劇団態変は昨年、旗揚げから 30 周年を迎えました。
皆様のご支援、ご賛同に感謝し、
勇気の源となるような芸術創造に挑み続けたいと存じます。
本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

1991年9月3日　第三種郵便承認　毎月(1・2・3・4・5・6・7・8の日)発行

緊急募集！

劇団態変 30 周年、第 60 回公演
Over the Rainbow 虹の彼方に

今回、我々はこの記念碑的公演にあたり初挑戦の ABC ホールで、観客動員数を普段の倍にするという無謀ともいうべき、しかし心躍る試みに挑戦します。
これまで通りの公演案内だけでは、新たな観客の方には出会えない…

そこで、皆様のご協力をお願いいたします！
今作のチラシを取り寄せて、周囲の皆様やお店などで配って、宣伝していただけないでしょうか。
皆様からの盛り上げが、今後の活動の基盤となってまいります。

●詳しくは P4…

作品紹介　p2
コラム　p3
緊急告知・チラシ配布のお願い　p4
公演概要　p5
2014 年度・賛助会委員募集のお知らせ　p6
物販案内　p7
30 周年企画・写真展のご案内　p8

作品紹介　Over the Rainbow ～虹の彼方に～

原始から未来へタイムトラベル！　・・・ 身体表現で描く

『Over the Rainbow　-虹の彼方に』では、地球は汚染が進み荒廃した宇宙のゴミ捨て場。異星からは、様々な廃棄物と共に要らない者とみなされた異星人が捨てられてくる。自分の意志で生きることをしてこなかった悪ガキの彼らは、「捨てられる」という経験から、捨てた者の存在を憎み苦しみもがくようになる。そうした徹底的な憎しみ、恨みの感情はやがて、自分を弱者とみなして他者に預けていた自己の生存本能を目覚めさせていきます。

共通の概念を持たない生命体が、好き勝手に自己を主張する。それはまさに混沌であり、愛憎渦巻くごった煮状態。人の目で相互を縛り付けるような社会を笑い飛ばし、徹底的に個人が生きることを生き、憎しみによって相手に殺意を持つ事も否定しない、その欲望の触れ幅が大きくなればなるほど混沌はますます濃度を増していく。それが煮えたぎり沸点を越える時、この場に何が起こるのか？

生きる本能に目覚める

「生きる本能に目覚める身体性」、これが今作で取り組もうとする身体表現の一つのキーワードです。

これまでも態変の身体表現は、自らの身体が宇宙と繋がっている、ということを表現に置き、徹底して身体の声を聴くということを大切にしてきました。そうすると、社会の規範や健常者のペースにがんじがらめになった身体は野生の感覚をとりもどし、生きるということへの欲を素直に表していきます。
これが表現として舞台に立ち現れる時、その身体性はダイレクトに、観客の方の本能をも激しく揺さぶることがあります。

生命まるごと投げ出すような態変の身体表現、だからこそ、それを目撃する人の本能と本能が響き合うような、言葉以前の原始のコミュニケーションが生まれるのでありましょう。現代社会を生きる人間が失いつつあるこの感覚を取り戻すには、とにかくその感覚を、自らの身体で経験する他ありません。

これは、人と人との豊かなコミュニケーションを恐れ､法律を盾に人の口を封じようとする社会とは、明らかに対立する概念。だからこそ今、態変の身体表現を通して「本能と本能が響き合う」という感覚を、さらに多くの人と共有したいと考えています。

生演奏、ジャズバンドとのコラボレーション

●山本公成が率いるジャズユニット：山本公成（Sax,Flute）　中島直樹（Bass）　信藤真実（Dr.）

黒人文化と白人文化、その他雑多な文化が混ざり合う混沌の中でうごめき、芸術として発展したジャズという音楽。これはまさに今作の舞台そのもの。人間の弱い部分を暴き、怒りを隠さないきつい音が、パフォーマーの身体表現の強弱を際立たせます。パフォーマーは、身体の中から突き動かされていくような音を浴び、しかし同時に自分の身体の内側の声に耳を澄ませる、真剣勝負のコラボレーションとなるでしょう。
生きる糧となる芸術、その根本にある人間の叫びを音楽の側からも迫っていきます。

苦境をチャンスに！　～ABCホールから新たな地平へ～

2012年より、態変は活動資金を賛助会員の方からの寄付金で支えていただいております。劇団としての息を永らえさせるためなら、確実に観客の呼べる範囲での公演を重ねていくことが身の丈に合っているのかもしれません。しかし、態変とは何であるか、ということを考えた時､｢環境に自らを合わせない。方法は後からついてくる」という旗揚げ以来の思想が、「おもろいことやろうや！」と呼びかけてきます。
ここで一つの勝負として選んだのは､ABCホールという会場です。近年態変が公演を行なって来た劇場の２倍の規模の会場､つまりこれまで400人前後であった観客数から、一気に800人を目指そうという、大胆なチャレンジなのです。800という数は、これまで通りの宣伝ではとうてい無理な数です。

そこで、今回は観客の方も巻き込んで、全国にチラシ配布をお願いしよう、というプロジェクトを立ち上げました。詳細は後のページでご確認ください。

皆様のやってやろうという気持ち一つで、一見無謀なこのチャレンジに希望の橋がかかります。

楽日に金満里とのアフタートークを予定　倉田めば

ピア・ドラッグ・カウンセラー（薬物依存回復施設　大阪ダルク施設長）
パフォーマンス・アーティスト

初めて態変を観た時、俳優たちが身につけているレオタードが気になった。わたしもパフォーマンス・アートをやっている身だが、あんなに体の線や凹凸が露わになるモノを身につけて人前で表現をする勇気は今のところない。それを堂々とやっている態変の人たちと自分とはいったい何が違うのだろう？

障害という視点から観てあらかじめ欠損しているものを、アートの回路を通して、あらかじめ備わっている個性として、パフォーマンスを展開をする時に、あのレオタードはどのように有効なのだろうか？

わたしは MTF トランスジェンダーなのだが、自分の身体のさらし方を振り返ると、どうしても、ジェンダー・アトリビューションによって、男女二つのラベルの内、常にどちらかを貼られるという記号性の壁の前で立ちすくんだまま、それ以上前へ進めない。自分にとっても他者にとっても、どこまでもジェンダー記号である肉体からの脱皮の可能性や方法を態変の舞台に見い出したいと願いつつ…

「Over the Rainbow -虹の彼方に」の公演と楽日、金満里さんとのアフタートークを楽しみにしている。

※トランスジェンダー　生まれ持った「性」とは違う性自認をしている個人や団体をさす一般用語。MTF は male to female、男性から女性へ、の略称。

※ジェンダー・アトリビューション　私たちが互いを性カテゴリーの一方に区分すること（＝帰属させる: attribute）

稽古場リポート　栗園香『マハラバ伝説』ベルリン初演で黒子として参加

12 月某日　メタモルホールにて、『Over the Rainbow -虹の彼方に』の稽古が行われた。

当日の稽古参加者は、楠本、上月、小泉、下村、向井、山口のパフォーマー全員。また、前日の音楽顔合わせに続いて、音楽担当の山本公成さんも参加して下さった。加えて、関西テレビによる映像取材も入るという賑やかな稽古場となった。

今作の舞台となるのは、放射能で廃墟と化した惑星。それぞれ異なる惑星から疎外された者達が捨てられてくる・・・という場面から始まる。互いに異なる身体性を求められる上に、生き残れるかどうかの瀬戸際を身体一つで表現しようと文字通りパフォーマー達がもがき苦しむ様子は、傍から見ていても、息のつまるような緊迫感だ。

また演出の金満里が、「え、そこまでやって大丈夫？」とこちらが心配になるような試みも、「できるやろ。やれ！」とばかりに、どんどん進めてしまう。さらに場面を通しながら、個別のダメ出しが次々と飛ぶ。正に七転八倒の生みの苦しみ。

今回は、特に演出がパフォーマー達に、相互の働きかけや、場面の解釈について互いの補足や解説を求める場面が多くみられた。

パフォーマーに、「捨てられる側」としての強い意識が求められる今作では、個々がより一層、作品とがっちり向い合う事が必須なのだろうなと思いながら、内心、こちら側（観る側）に座っていられて良かったと胸をなでおろした次第だ。演じる側はタイヘンだ。

・・・しかし、稽古中で詳細がかけないのが残念だが、３時間程の稽古に立ち会う間に、私の眼には、稽古開始当初とは、全く違う風景が見えて来るという体験をした。身体表現が物語を紡ぎだす瞬間に立ち会ってしまった気がした一日だった。

とは言え、本番までは２カ月以上。演出の金満里によれば、まだまだ作品は制作途中との事。『Over the Rainbow -虹の彼方に』、この作品で、また態変が作り出す新しい場面に出会えそうだ。

緊急告知

チラシ配布のお願い

今回の公演は、劇団態変の３０周年、第６０回目の本公演です。
今回、我々はその記念碑的公演にあたり、**初挑戦のABCホールで、観客動員数を普段の倍にする**という無謀ともいうべき、しかし心躍る試みに挑戦しています。
そこで、劇団態変の３０周年を盛り上げてやろう！という皆さま、「Over the Rainbow―虹の彼方に」のチラシを配って、宣伝にご協力頂けませんか？！

・周囲の皆さまに配布して宣伝して頂ける方
・知り合いのカフェやお店などに置きチラシをして頂ける方
・その他、一般に広く劇団態変の公演を宣伝するために、チラシをご活用いただける方

●このような方に、チラシをお渡しします。下の３つの方法のいずれかでお願いします。

① イマージュで、直接、チラシを受け取る
・イマージュでライブ等の開催中にスタッフにお声掛け頂ければ、ご希望枚数をお渡しします。
・イベントがない日は事前に電話またはメールで枚数と引き取り希望日をお知らせ下さい。

電話　06-6320-0344
メール　taihen.japan@gmail.com

② 定型外郵便で受け取る（切手代実費をカンパとしてご協力下さいませ）
・封筒に宛名を記入して、必要な切手を貼ってイマージュ宛にお送り下さい。

送付先　〒533-0031　大阪市東淀川区西淡路1-15-15　劇団態変事務所
送付物　・A4チラシが入る封筒に必要な切手を貼付け、ご自身の住所を宛先に記入したもの
・チラシ５０枚分　＝３９０円　　・チラシ１００枚分＝５８０円
⇒送付いただいた封筒にチラシをいれて、折り返し送付します。

③ レターパックで受け取る（レターパックライトの実費をカンパとしてご協力下さいませ）
200枚まで＝レターパックライト　３５０円
詳細は　http://www.post.japanpost.jp/service/letterpack/index.html
・レターパックライト（350円）を購入　（郵便局または切手を扱うコンビニで購入可能）
・レターパックライトにご自身の住所を記入して、イマージュまでお送り下さい

送付先　〒533-0031　大阪市東淀川区西淡路1-15-15　劇団態変事務所

④ その他
・劇場やご自身の関わる公演等で、チラシを大量に挟み込みなどしていただける方は、別途情報をお寄せいただけると助かります。

皆様のお力を借り、全国津々浦々、そしてもちろん大阪の隅々まで態変のチラシをお届けしたいと思います。

●ご協力、どうぞよろしくお願いします！

なお、切手が貼っていないお申し込みはお受けできませんので、ご了承下さい。返信用封筒に受取人の住所・名前を書いていただき、切手代をご負担いただくことで、態変を応援いただく活動です！

劇団態変 30 周年・第 60 回公演

Over the Rainbow -虹の彼方に

作・演出　**金満里**

音楽　**山本公成率いるジャズユニット**

山本公成（Sax,Flute）　中島直樹（Bass）　信藤真実（Dr.）

出演　金満里　楠本哲郎　小泉ゆうすけ　上月陽平　下村雅哉　向井望　山口幸恵
植木智（新人）＋エキストラ

開演日時

3月21日（金・祝）18:30
3月22日（土）13:30 ／ 18:30
3月23日（日）13:30 ★アフタートーク　金満里×倉田めば

●受付は開演の1時間前・開場は30分前

チケット（全席自由／日時指定）

前売（一般）3,500円
（学生）2,500円　※学生は大学･専門学校生以下
（シルバー）3,000 円　※シルバーは 65 歳以上（受付にて証明書提示要）
（障害者介助者ペア）6,000円

当日 4,000円　※学生・シルバー・障介ペアは前売のみ

チケット取り扱い（発売中）

●劇団態変　TEL/FAX　**06-6320-0344**
E-mail　taihen.japan@gmail.com
HP　http://www.ne.jp/asahi/imaju/taihen/
●チケット予約フォーム
http://www.asahi-net.or.jp/~tj2m-snjy/form/ticket2.html

会場

ABC ホール

（大阪市福島区福島 1-1-30）
阪神本線・福島駅 徒歩5分
JR東西線・新福島駅 徒歩5分
JR環状線・福島駅 徒歩7分
京阪中之島線・中之島駅 徒歩7分
JR 大阪駅・徒歩15分

2014 年度 賛助会員制へのご協力を…！

劇団態変は 2012 年４月より自主運営に舵を取り、今この時代だからこそ、の芸術創造を続けています。現在、アトリエである「メタモルホール」を拠点に様々な企画を各方面へ発信しています。

劇団態変アトリエ・メタモルホール

常に変化し続けるという思いを込めて、英語の metamorphose =「(さなぎが)変態する」を文字ってメタモルホールと名付けました。7.2m×5.4m の小さなスペースでありながら、無限大の芸術創造が行われる当劇団の拠点です。

そんな活動拠点を持つ劇団態変は、行政より補助金を受け取る運営体制から、2012 年４月より自主運営へと大きく舵をきりました。そして現在、３つの方法で活動資金を集めています。

① 態変の芸術を行なうパフォーマー団員たちが、毎月団費を出し合っていく。
② 国の福祉や制度に頼らず、直接市民の輪を広げる賛助会員制を設け、賛助会費で支えていただく。
③ 有志に「メタモルホール」を使って企画を立ててもらい、収益をカンパしていただく。

皆様からはこれまで賛助会員として、劇団態変の芸術活動を支えていただき、昨年度は６公演、12 イベントを行なうことができました！

今後も、当劇団の芸術表現が、人間の生を豊かに深化させるものと確信し、引き続き芸術創造に邁進したいと考えております。

何卒、引き続き 2014 年度、賛助会員のご更新または新規でのお申し込みの程、宜しくお願いいたします。
※13 年度の賛助会員の有効期限は来年３月までです。

会員の種類・年会費
・個人会員　一口 5,000 円
・法人会員　一口 20,000 円

会員特典
・会員証発行
・公演チケット賛助会員価格
劇団態変の公演を賛助会員価格でご覧いただけます。
・個人会員様はチケット料金から 500 円割引
・法人会員様は御招待券を一口につき一枚進呈させて頂く他、団体でご来場の場合、団体様向けの特典もございます。
（詳細は公演時の受付にてお問い合わせください。）
・当該年の劇団態変公演のダイジェスト映像を収録した DVD を、年 1 回進呈させて頂きます。

●ご入会方法

郵便振込　この DM に同封の郵便振替用紙にご芳名と送付先を記載していただき、お振込をお願いします。差し支えなければお電話番号、メールアドレスもお教えください。

PayPal にてご入金　メールアドレスとクレジットカードをお持ちの方は、PayPal 経由の送金をご利用頂けます。劇団態変のホームページ、日本語ページから「賛助会員募集」へと辿ってください。

劇団態変30周年・第60回公演
『Over the Rainbow -虹の彼方に』関連企画 第一弾

みんな
来てや!

写真で見る劇団態変30年の軌跡展

年来の友へ！　君の青春に会いに来れへん？再会しようや。再び挑戦の生を語りあおうや！
新たなる友へ！　これが態変なんや。こうやって生きてきたんよ！
劇団態変所蔵の膨大な写真記録から、厳選し厳選し、御目にかけますぜ！30年の軌跡を！

●まず、目玉！
態変を立ち上げたあの伝説の公演**「色は臭へど」**（1983 京大西部講堂）の記録写真
畳一畳大のパーテーションに滅多やたらに貼りまくり展！

●続いて、魂に食い入る写真…態変の30年間の節目節目の公演
から厳選2点前後、パネル展示、メタモルホールの壁面を埋め
つくします！

■日時　2014年 1月31日（金）　17:00～21:00
2月 1日（土）　13:00～20:00
2月 2日（日）　13:00～17:00

※1月31日　オープニングパーティーを予定
（詳細はHP等でお知らせ）
※2月1日　14:00～　山本公成＋態変パフォーマンス
（観覧無料、予約不要）

■会場　メタモルホール（劇団態変アトリエ）
大阪市東淀川区西淡路1-15-15
JR東淀川駅東口から徒歩約２分（直進して
ケーキ屋カレンの角を右に曲がってすぐ）
■Tel 06-6320-0344
■入場料金　**500円**（お茶付）

主催　劇団態変
劇団態変30周年記念さらにドント飛べ応援団

写真展示予定の公演

1983 色は臭えど
87 カイゴ・香異湖・KAIgo
90 いざいほう inながい
91 Heal　一癒しの森
91 銀河叛乱
92 静天のへきれき
92 夢みる奇想天外（ウエルウィッチア）
92 ケニア公演「天国の森」
93 天3部作～人は誰も心に森をもっている～
94 大野一雄とのコラボ「山が動く」
96 宇宙と遊ぶ
99 壺中一萬年祭
2000 壺中一萬年祭
01 壺中一萬年祭
01 ベルリン公演
02 マハラバ伝説(大阪)
04 帰郷―ここが異郷だったのだ
（大阪・ソウル・東京）
11 ファン・ウンド潜伏記(大阪・ソウル・固城)
12 また何処かで
13 ミズスマシ

●関連企画　第二弾　劇団態変写真展
ABCホールでの『Over the Rainbow -虹の彼方に』公演期間中にも写真展を同時開催！
態変の身体を見つめる写真家達の作品を、30年間の記録から厳選公開！
写真家　Setsuko Hara・谷アツシ・友長勇介・福永幸治・未来・Lieuichi Yoshida 他
日時　2014年3月21日(金)18:30、3月22日(土)13:30／18:30、3月23日(日)13:30
各公演開演前の1時間、及び終演後の30分間開催。
場所　ABCホール　大阪市福島区福島1-1-30　Tel. 06-6451-6573
（阪神本線「福島駅」徒歩5分、JR環状線「福島駅」徒歩7分、京阪中之島線「中之島駅」徒歩7分）
料金　300円（公演チケットをお持ちの方は無料）

発行人：関西定期刊行物協会／大阪市天王寺区真田町２－２　東興ビル４F
編集人（返送先）：イマージュ　和田佳子　楠本哲郎　金滿里　仙城真　栗園香　川崎那恵　三上映子
〒533-0031大阪市東淀川区西淡路1-15-15
tel/fax 06-6320-0344 e-mail taihen.japan@gmail.com　定価５０円

１９９１年９月３日　第三種郵便承認　毎月（1・2・3・4・5・6・7・8の日）発行

情報誌イマージュ 購読者拡大にご協力を！

異文化の交差点に生じる濃度の高い、とことん突き抜けて面白い発信を目指して年3回発行を続け20年目。購読者数低迷で発刊続行の危機ですが、逆にあと100名、購読者が増えれば、態変の活動資金も捻出できます。

◆バックナンバーの販売致しております

バラ売りは１冊５００円、在庫分に限り３冊セットで１０００円でご購入いただけます。

※vol.１, 13, , 35, 54, 56は品切れとなります。

◆まだご購読いただいていない方は、この機会に是非ご購読を！

１冊500円。是非とも年間購読（年３回、1500円）お申込みをお願いします。

お申込み方法

◇このDMに同封の郵便振替用紙にご芳名、送付先ご住所、〇号から～年間購読もしくは単品～号購入と記載していただき、お振込をお願いします。

◇態変ホームページ上に予約フォームがございます。

「劇団態変」で検索し、日本語トップページ→出版物案内と辿って下さい。

◇PayPalにてクレジットカードから御入金いただくことも可能です。

最新号 vol.58　2013年 冬号の内容紹介

クロスオーバー談義 山本公成×金満里 ●虹の彼方に見える身音

劇評 金満里ソロ公演　『寿ぎの宇宙』清　眞人・田中誠司

さなぎダンス企画#４　美の境界の喪失 溶解　/上念省三

福森慶之助の詩 明日の為に / ヒルコの海

わかぎゑふの得か毒か?!　❹ 善意

劇団態変の公演映像DVD　絶賛販売中！

●態変韓国公演　ファン・ウンド潜伏記・朴璟琅同行の新たな旅路

●金満里ソロ公演　天にもぐり地にのぼる　（メタモルホール）

●一世一代福森慶之介　又、何処かで

●劇団態変第57回公演　虎視眈眈

●劇団態変第58回公演　ミズスマシ

●金満里ソロ公演　寿ぎの宇宙　（メタモルホール）

■各定価 3,000円

※同封の振込用紙にて、お買い求めいただけます。

※別途送料としてDVD１枚１８０円, CD１枚１００円をお願いいたします。

※２枚以上ご注文の場合、送料は２３０円となります。